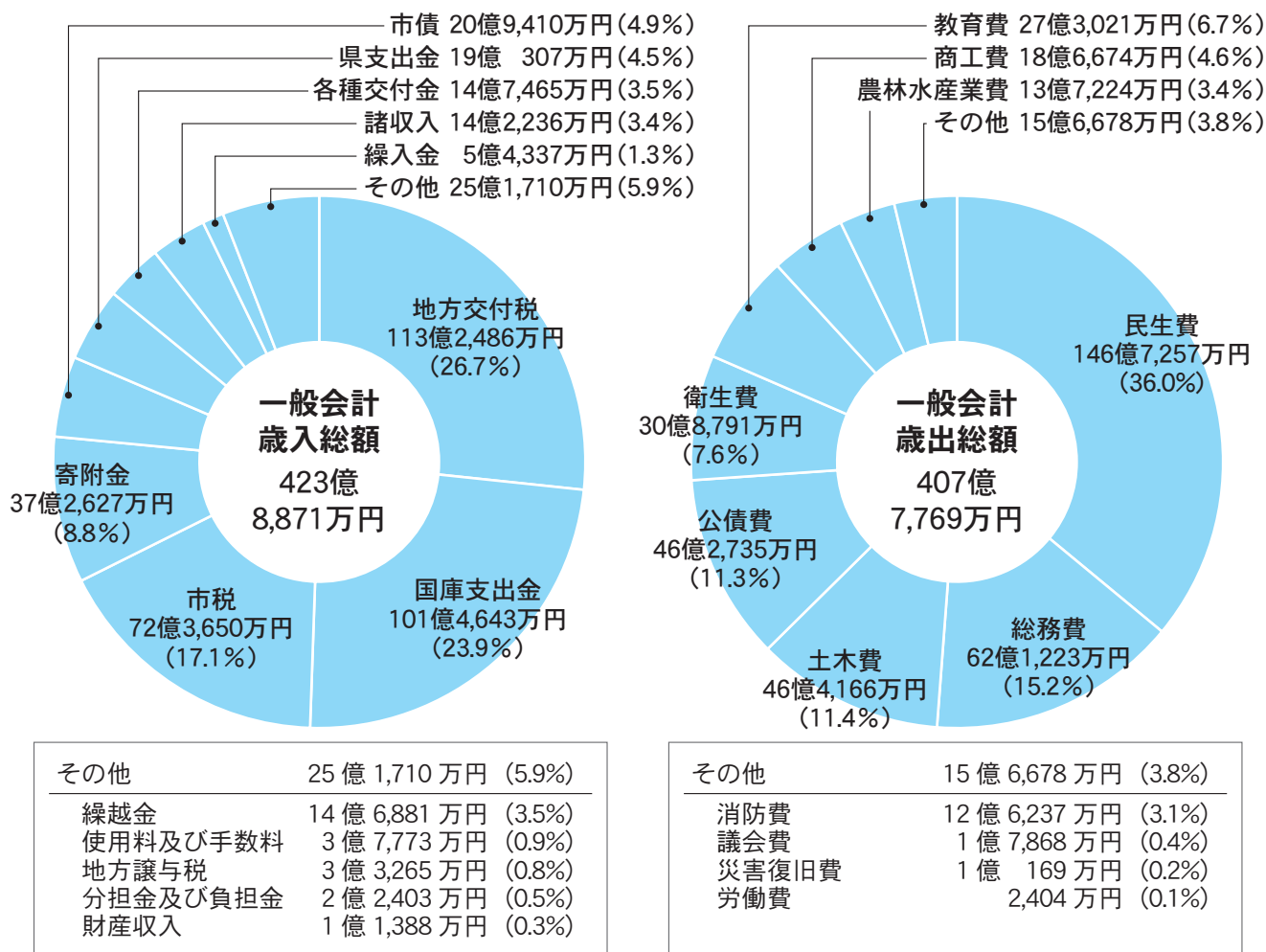


グラフで見る令和2年度一般会計決算の内訳



主な南魚沼市の新型コロナウイルス感染症対策事業

令和2年度は新型コロナウイルス感染症対策事業を行い、決算額が前年に比べプラス90億円と大きく増額しました。そのうちの56億円は特別定額給付金事業（国の給付金事業で、1人につき10万円を給付）ですが、その他に市では多くの独自事業を行いました。主なものは次のとおりです。

事業名	事業の説明	決算額
南魚沼市事業継続給付金	国の持続化給付金の対象とならない、売上減が5割未満の事業者を対象に給付金を支給しました。	1億2,361万円
南魚沼市経営支援給付金	経営が圧迫している市内業者に固定費を包括的に支援するため、給付金を支給しました。	4億8,540万円
ひとり親家庭等支援事業	ひとり親世帯や障がいのある児童を養育する世帯に対して、負担軽減を目的に給付金を支給しました。	2,314万円
水道料金の基本料の減額	市内の全世帯と事業所への支援として、水道の基本料金を6月使用分から3か月分を半額としました。	7,286万円
わがまち応援プレミアム付飲食・宿泊券発行事業	新型コロナウイルスにより影響を受けた市内の飲食・宿泊業を支援するため、プレミアム付き飲食・宿泊券を発行しました。	2億4,687万円
地域公共交通事業者支援事業	交通事業者に対して、地域公共交通の確保のために保有台数などに応じ支援金を支給しました。	741万円
給湯器設置事業	冬期における子どもたちの手洗い励行の補助として、公立保育園、公立学校に手洗い用給湯器を整備しました。	4,897万円
南魚沼市ふるさと応援プレミアム旅行券発行事業	市内の宿泊業などを支援するため、市内の宿泊施設に宿泊する人に向けて、宿泊券と地域利用券のセットを発行しました。	7,000万円